

東小ニュース19

雨の日の過ごし方

今週は雨がよく降ります。そのため子どもたちは、大好きな休み時間を外で遊ぶことができません。子どもたちは図書室で本を読んだり、教室でトランプや絵を描いたり、雨の日の過ごし方を各自工夫しています。

「晴耕雨読」という四字熟語があります。元々の意味は、「晴れた日は畑を耕し、雨の日は家で読書をして静かに暮らすことから、俗世間から離れた悠々自適の生活を送る」という意味ですが、晴れの日には体を動かすことによって心身の健康を保ち、雨の日には静かに読書を楽しむことで知識や教養を深める、このバランスが子どもたちにも我々にも重要だと思います。自然の力には逆らえません。天候に合わせてその日に適した行動を選択する力を身に付けることが重要かと思います。しかし、そうは言っても、早く梅雨が明け子どもたちには元気いっぱい外で遊んでほしいです。

